

裁判員裁判の実施状況

～経験者の声もお知らせします～



平成21年5月21日のスタートから7年が経過する『裁判員制度』について、平成27年12月末までの裁判員制度の実施状況や裁判員経験者の声(アンケート結果)をお知らせします。

★その1 裁判員裁判に関するデータ (※全て制度開始～平成27年12月末までの数値)

●裁判員に選ばれた方は、48,602人!

内訳は以下のとおり(アンケートより。無回答分があるので100%にはなりません。)

- ・性別 男性55.0%, 女性43.3%
- ・年齢 20代14.0%, 30代21.2%, 40代23.1%, 50代19.7%, 60代18.3%, 70歳以上1.9%
- ・職業 お勤め55.6%, パート・アルバイト15.1%, 専業主婦・主夫9.8%, 自営・自由業7.0%, 学生, 無職, その他計10.4%

●裁判員裁判における判決人員は、8,444人

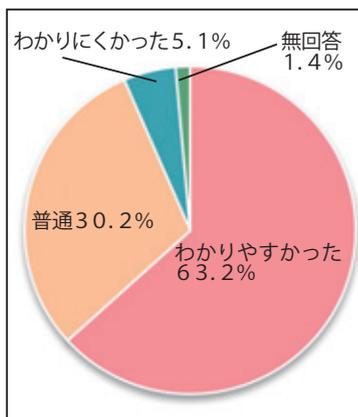
●裁判員として、裁判手続に参加する日数の平均は、約7.2日

判決の内容を決めるための評議の時間の平均は、約10.1時間



★その2 審理ってわかりやすい? 専門知識がなくても理解できる?

→経験者の63.2%の方が、法廷での審理は「わかりやすかった」と回答しています。



専門用語が多いのではないかと心配していたけれど、法廷では、素人でもとてもわかりやすく、安心しました。

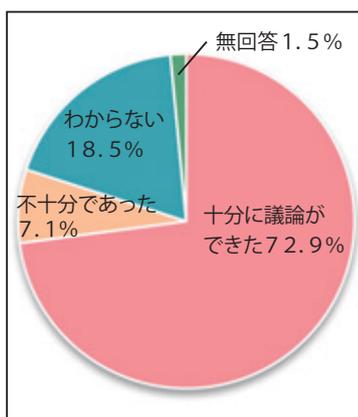
(60代, 女性, パート・アルバイト)

書類や話す内容は、裁判員にも非常にわかりやすかったです。

(40代, 男性, お勤め)

★その3 充実した評議ができる?

→経験者の72.9%の方が、評議で「十分に議論ができた」と回答しています。



こまめに休憩があり、進行も明確でしたので、集中し考え、議論できたと思います。

(20代, 男性, お勤め)

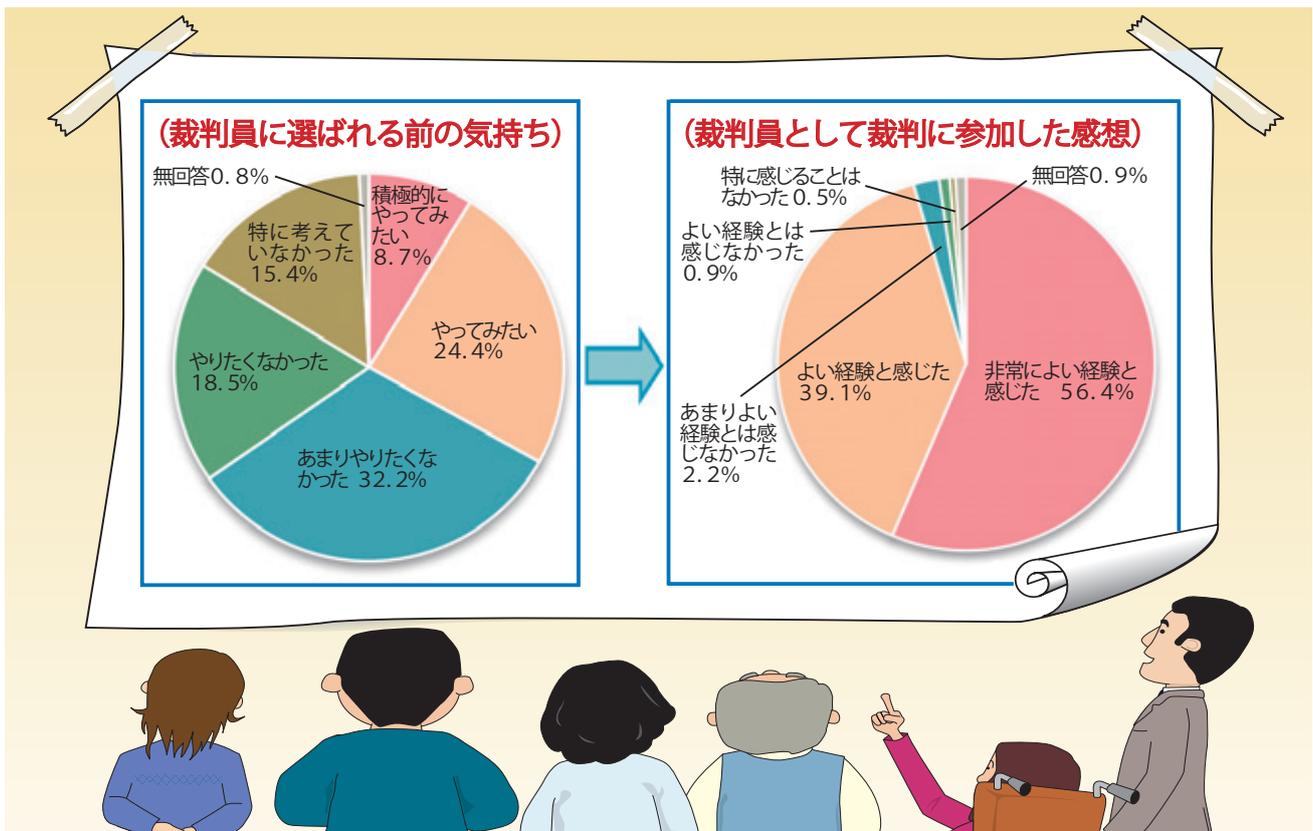


発言しやすい雰囲気での自分の意見が言いやすかったです。納得して結論が導けてよかったです。

(30代, 女性, お勤め)

★その4 裁判員に選ばれる前と後での気持ちの変化は？

→「(あまり) やりたくなかった」から、「(非常に) よい経験と感じた」へと変化しており、充実感をもって裁判員としての職務に従事していただけたことがうかがえます。



★その5 実際に裁判員を経験された方をご紹介します！

普段の生活とはかけ離れた毎日を送ることはとても不安でしたが、普通なら全く関わることのないであろう「裁判」がどのように行われているのかを知ることができ、家族と沢山のことを話し合う良い機会となりました。なにより、年齢も職種も全く違う方々と意見交換をしながら1つの結論を導き出す作業はとても難しかったですが大変意義のあるものでした。
(20代, 女性, 専業主婦)

自分とは無縁と思っていた裁判が、近くに感じられる様になりました。(50代, 男性, お勤め)

普段経験できない裁判所、法廷等の様子を見る事ができました。たくさんの方々の努力の上に裁判がある事が分かり、感心しました。裁判員をしたことで、今後知らない人々に教えてあげたいと思いました。(40代, 男性, 自営・自由業)

仕事を離れ色々な方と接し、視野が広がったと思います。
結果的にいい経験が出来たと思います。(30代, 男性, お勤め)

子供を預かる場所など案内していただいて、助かりました。(20代, 女性, 専業主婦)

職場からの後押しもあり、この3日間は仕事のことを考えずに裁判のことのみ考えられ、一生にあるかないかの経験ですので良かったと思います。(50代, 女性, お勤め)

★より詳しくお知りになりたい方は、裁判員制度ウェブサイト (<http://www.saibanin.courts.go.jp/>) へ裁判員制度に関する統計や動画、パンフレット、キッズページなど、いろいろな情報を発信しています。

注) 本記事に掲載されている各グラフ内の比率は、小数点第二位を四捨五入しているため、各比率の合計が100%にならない場合があります。